

## 同窓会代議員・顧問・参与・役員アンケート集計表

令和4年3月には、新たに医学部医学科の第一期卒業生が本学同窓生となり同窓会に加わる予定です。そこで、東北医科薬科大学同窓会のさらなる充実・発展に向けてその組織、運営等について見直し・検討を行い、今後の同窓会の組織・運営のあり方について参考とさせていただくため、アンケートを実施しました。

アンケート対象者：同窓会代議員・顧問・参与・役員

アンケート回答期間：令和3年10月5日～10月22日

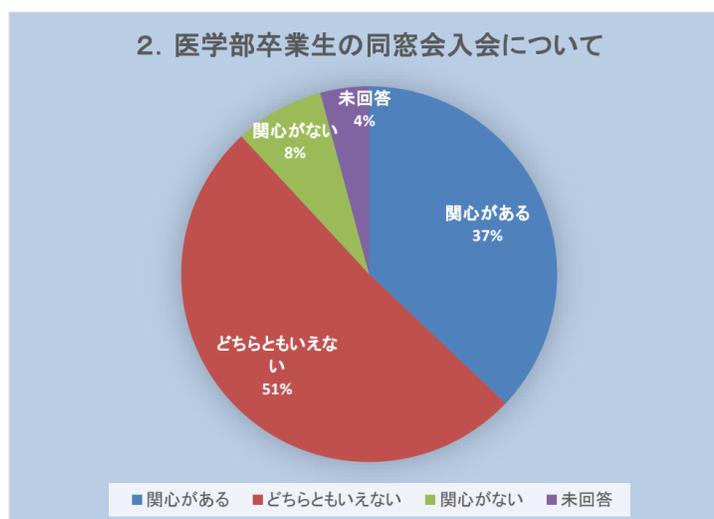
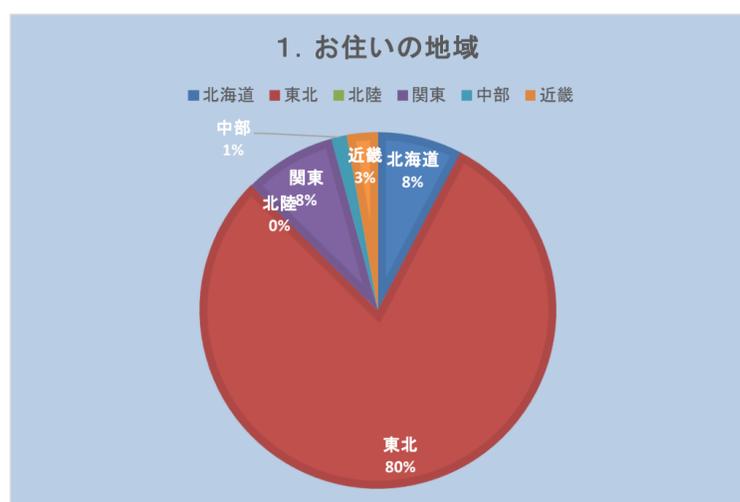
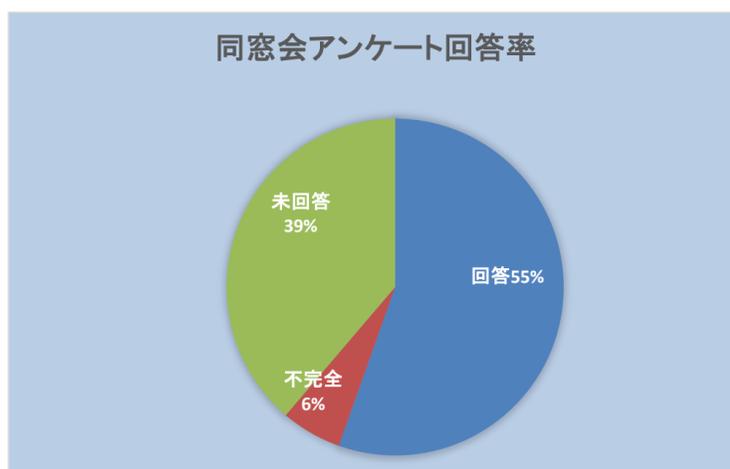
アンケート回答者：258名中158名 うち回答143名 回答率 55.4% 不完全 15名

アンケート内訳：書面回答者85名 電子アンケート回答者73名 うち不完全 15名

回答	143
不完全	15
未回答	100
合計	258

### 1. お住いの地域

地域名	
北海道	11
東北	114
北陸	0
関東	12
中部	2
近畿	4
他	0
回答合計	143

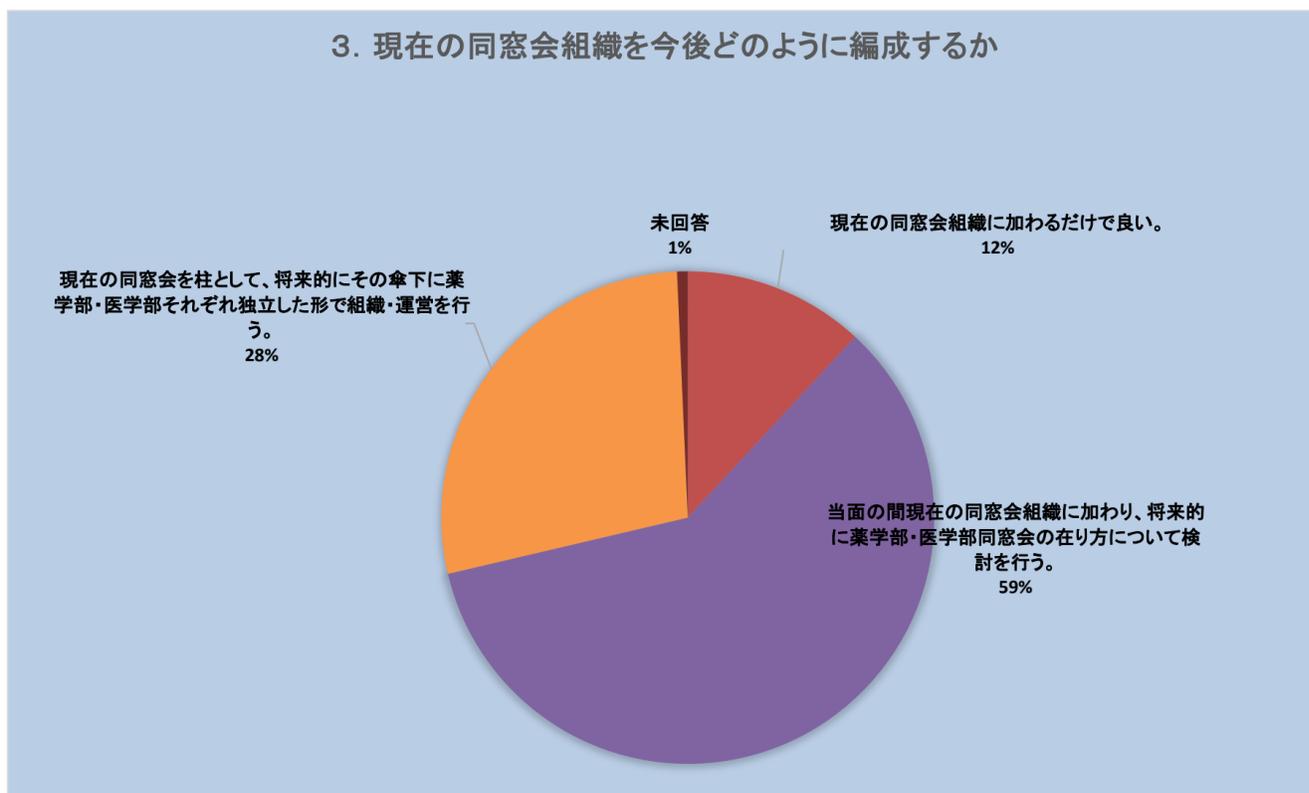


### 2. 医学部の卒業生が現行の同窓会活動へ加わることに興味関心がありますか

関心がある	53
どちらともいえない	73
関心がない	11
未回答	6
回答合計	143

### 3. 現在の同窓会組織を今後どのように編成するか

現在の同窓会組織に加わるだけで良い。	17
当面の間現在の同窓会組織に加わり、将来的に薬学部・医学部同窓会の在り方について検討を行う。	85
現在の同窓会を柱として、将来的にその傘下に薬学部・医学部それぞれ独立した形で組織・運営を行う。	40
未回答	1
合計	143



### 4. 現在の同窓会に医学部の同窓会生が加わった際、役員・代議員の人数の変更を行う場合、人員を増やした方がよい役職に印しをつけてください。(複数回答可)

副会長	75
幹事	66
監事	47
支部代議員	60
年次代議員	71
未回答	7
合計	326



## 2. 医学部の卒業生が現行の同窓会活動へ加わることに興味関心がありますか？

ある                      どちらともいえない                      ない

あると答えた方は、どのような活動を期待しますか。どのようなことをしたいですか。

(原文のまま)

- ◆興味関心ではなく、加わることに異議なしです。
- ◆医学部の初年度卒業生は、社会人としての同窓生によるバックアップを行けることが難しいと思われます。薬学部の同窓生の中には家族、親族が医師であるケースも多々あり、初年度～5年度程度までの医学部卒業生を温かくサポートする意味でも、従来の母校同窓会に入れるべきと考えます。
- ◆学部を越え、交流することで視野を広げる。
- ◆同窓会を通じての医師・薬剤師連携が図れることを期待します。
- ◆医学部ができて卒業生が同窓会員となることは、とても誇らしく嬉しく思います。何といても医師は薬剤師の上に位置されており、(社会通念として)後輩に医師群が加わることは薬学部・薬剤師にとって誇りとなります。
- ◆薬剤師と医師の同窓会として幅広い活動ができるものと期待している。
- ◆薬剤師と医師が同窓生として母校が発展していくことにお互い協力していくことが重要な事と考えます。今後の医療界にとっても有効な事と思います。
- ◆薬学部卒業生との連携。
- ◆各地域の中で、医学部・薬学部共同での支部活動を期待します。(支部・勉強会等)
- ◆地域医療に貢献する我が母校が母校の特徴から母校医師の派遣病院では、必ず薬学部5・6年生の実務実習薬局として指定し派遣する。大学—地域病院—薬局をセットで組織化し、皆メリットがあるのでは。
- ◆同窓であるという意識を地域医療に貢献するうえで協力して支えていくという意識へ昇華して行って欲しい。
- ◆卒業教育への協力体制。
- ◆両学部とも、6年生なのでそれぞれの利点を伸ばせばよいと思う。
- ◆同窓会活動での多様性確保は必要と思います。
- ◆薬学部だけの活動では制限があるので、医学部を加え幅広い活動をめざす。
- ◆関心はあります。医学部卒の同窓生が新たに加わることによって、色々な情報交換が行われ、より一層の活性化が期待できます。
- ◆本学卒業生の医師と交流が活発となる機会が増えることを望みます。
- ◆医学部内での連携が深まるとともに、医学部と薬学部との連携がさらに深まることを期待します。
- ◆同窓会組織として母体が大きくなる事で今まで取り組む事の出来なかった事業や今回のコロナ等の緊急的な財政出動も比較的容易になるのではないかと。
- ◆現場で活躍している医師と薬剤師がお互いの立場を尊重した情報交換ができる活動を期

待しています。

- ◆薬剤師が医師と同じ大学出身ということでスムーズに事が運ぶということを期待する。
- ◆医師と薬剤師の連携業務を推進するためのベース
- ◆より活発な会になる事を期待します。
- ◆第一期生として、医学部卒業生間の親睦だけでなく、母校と薬学部卒業生との連絡や交流の基礎を築くよう、積極的に同窓会活動に参加して欲しい。
- ◆医学部卒業生に積極的に参加し、意見を出していただきたいと思います。 医薬合同研修会等を実施して、卒後研修のより一層の充実を期待します。医と薬が一緒になれば、同窓会として社会貢献を考えることができるのではないかと思います。
- ◆医療人として医学・薬学あい隔てることなく、同窓生として活動したほうが良い。
- ◆将来、支部研修会の講師として活躍することを期待しています。
- ◆関心は大いにあります。地域医療を身に着けた医師の卒業生の活躍が期待でき、これまでの薬剤師のみの卒業生集団とは異なって国民の医療に、総合的に対応できる同窓会に発展できる。
- ◆勉強会への出席、懇親会への出席
- ◆同窓会名簿を共有し、地域で直ぐに連絡を取り合える関係を期待したい。
- ◆薬学部と医学部卒業生との交流を密にしてほしい。
- ◆今後の医療を考えると連携で行った方が良い。(垣根を取り払った医療、診療を考えよう！)
- ◆コロナ以降医療体制が大きく変わる中、医療現場での医師の生の話しが聞けることは薬剤師の活動に役に立つと考えられる。 医療現場に於ける薬剤師の立場の考察と地位向上(医療連携と地域医療での役割等) 医薬品の副作用等の詳細と対処 医薬品開発の方向性等
- ◆薬学部とどのようにコラボレーションしていくか。
- ◆医薬連携による勉強会や社会福祉活動
- ◆同窓会活動を通じて医師・薬剤師の連携ができれば医療現場でのプラスになるのではないかと期待します。
- ◆両学部の卒業生による同窓会となり、各支部においても両卒業生が協力して、地域の医療に貢献する同窓会になることが望ましく思います。
- ◆総会・懇親会。
- ◆医学部・薬学部の連携。情報交換と共有。(同内容回答 3 件)
- ◆災害活動、今回の様なコロナ対応、地域医療活動、教育への支援。
- ◆医学部と薬学部の相互理解が得られるので良い。
- ◆寄付行為。
- ◆同窓会の活動の中で(支部も含む)講演等をして頂けると良いのではないのでしょうか。

- ◆大学教育の中で医学部と薬学部が教育の面でも研究の面でも連携することができるのであれば、一つの同窓会でも良いと考えますが、将来的に医学部同窓会・薬学部同窓会と別々になるような気がします。従いまして、別々になっても金銭的な問題だけは発生しないように、同窓会費の管理が必要になると思います。
- ◆チーム医療といいながらやはり医師の壁はあります。それも高い壁です。学生の中から交流し、その後同窓会としても交流を持ちたいです。
- ◆薬剤師と医師の交流の場は絶対必要かと思うのですが、なかなか難しいのが現実です。どのように交流できるかは不安ですが、良い機会だと思う。(特に若い先生たちには)
- ◆薬学部出身者と医学部出身がともに交流ができることはこれからの医療人として高め合う事ができてお互いに良いことと思う。しかしながら、医療機関では医師と薬剤師としての立場上のモヤモヤ感が気になります。特に薬剤師はAIの進歩でますます存在感が薄れています。しかし、新型コロナでまた創薬に対する認識が高まっていると考えています。
- ◆期待はなし。
- ◆まだ第一期生なので長い目で見ていく必要があると思います。加わっていただくこと自体に興味関心は当然ありますが、まずは薬学部卒業生と同様、同窓会に参加していただくからでないと、こちら側が何かしらの活動を期待するも何もないと考えています。
- ◆申し訳ありません。現時点では思いつきません。他の医学部と薬学部を有する大学では、どのような同窓会活動を行っているのでしょうか。
- ◆とりあえず薬学部と同調して活動して頂ければと思います。
- ◆2の設問に対する回答の選択肢の意味が理解しにくいです。今回、郵送された「・・・アンケートのお願いについて」の文面には、大学は「第一期医学部卒業生が本学の同窓生となり同窓会に加わる予定です」と説明しています。ですから、医学部の卒業生が現行の同窓会に加わることは確実です。その現実があるうえで、2の設問のポイントである「現行の同窓会活動へ参加することに興味関心がありますか？」の選択肢に「どちらともいえない」あるいは「ない」を掲げるのは適切なことでしょうか？ 東北医科薬科大学の医学部を卒業し、これから「医療の中心を担う医師」として活躍しようとする若者が、我々の大学の同窓生になることは、我々薬剤師同窓会の喜びであり、医学部同窓会の体力がつくまで、現行の薬剤師同窓会が種々の面で協力し、一日も早く一人前の医師に育つことが、我々薬剤師同窓会の意見として一致することが大切だと思います。したがって代議員・顧問・参与・役員に対する選択肢としては適切なのかなと感じました。組織の役員の方の役割は同窓会の事柄に対しては、興味関心を持っていただきたいと思います。この表現では医学部同窓生に「我々は招かざる客なのか」と誤解を与えるかもしれません。アンケートのオープニングとしては、現行の薬剤師同窓会は、将来、立派な医師になるであろう若き人材の同窓会参加を心から歓迎するようなオープニング選択肢であればよかったと思います。そうすると、「我々は招かれている」と好感を持って薬剤師同窓会に対応してくれると思います。このことを基本概念として、3, 4の設問が深く考えられるようになる

と思います。「あると答えた方は、どのような活動を期待しますか。どのようなことをしたいですか。」の小生の思いを示します。

- 「どのような活動を期待しますか」について：勿論一日も早く一人前の医師になるような活動を期待しています。それだけで十分です。
- 「どのようなことをしたいですか」について：上記が速く実現できるように、薬剤師同窓会全体で応援したいと思います。

### 3. 現在の同窓会組織に医学部同窓生が加わった場合、今後同窓会組織をどのように編成していきたいと思いますか？

【ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。】

- ◆医学部卒業生が今後どう考えていくのかがまずは知りたい。
- ◆薬学部・医学部の卒業生だけでなく他大学出身の教員等を含めての組織化が必要と思います。
- ◆東北医科薬科大学医学部同窓会としての組織ができるまでは、薬学部同窓生と一緒に活動してもよいと思う。
- ◆医学部一期生が卒後同窓会活動もすぐには難しいかもしれませんので大学の医師の先生が補助していただければ良いのではないのでしょうか。
- ◆現存の昭和大学・福岡大学そして富山大学の同窓会の在り方を研究参考にする必要があると思う。
- ◆医学部の同窓会の活動は、他医学部のホームページからも分かるように一般に多岐に渡り、結束もかなり強いようです。薬学部と医学部とでは、それぞれ異なった方針・事情があるでしょうから、同窓会活動を両学部で同じように行うことは現実的に難しい面があると思います。両学部間で慎重に話し合いを重ね、将来の方向性を探る必要があると思います。
- ◆複数の学部ある他大学の同窓会組織はどのようになっているのでしょうか？ 他事例を提示していただけると回答しやすいです。
- ◆我が大学と同じような複数の学部を持つ医学系大学の同窓会組織の情報があればイメージ出来やすいと思います。
- ◆岩手医科大学を例にとると各学部に同窓会があり活発に活動し、更に総合的に年1度位同窓会の活動をしている組織方式です。
- ◆○まずは、我が大学と同じような複数の学部を持つ医学系大学の同窓会組織の情報があればイメージ出来やすいと思いました。○医学部の同窓生の立場で考えてみると、医学部同窓生100名程度、まだ若年層、資金不足などすべての面で十分な体力がないことから、同窓会運営に対し、不安感があると思いますし、また、それが現実です。したがって、小生は医学部同窓会にある程度、体力が付き、独立した組織として運営ができると彼らが認識した時点で（医学部同窓生が500名程度になると少し体力がつくと思います）、「将

来的に薬学部・医学部同窓会のあり方について検討を行う。」を選択しました。

- ◆医療業界で医学薬学分野に東北医科薬科大学が大きな存在感を増大していく。
- ◆まずは現在の同窓会を柱とし、その後は様々なご意見を伺いながら組織を編成されてはいかがでしょうか。
- ◆医師・薬剤師は同格ですが社会通念は医師が上です。しかし同窓会は母体が東北医科薬科大学ですから、現在の形を柱としてその傘下で同窓生として同格の活動を期待します。
- ◆東北地区の医療界発展のため大いに力を発揮していく同窓会であってほしいと思っています。
- ◆将来、未来の子供たちがより良い社会に生きるためにできること、残せること、変らなくてはいけないことを卒業生の皆さんを我が子のように想い伝えていきたいですね。
- ◆「願望」大学⇔同窓会⇔医学部⇔薬学部⇔その他未来（看護等々）医療総合大学を目指した展開を期待しています。
- ◆残念ですが、同窓会定時総会等同窓会の集まりへ参加できません。ただ、同窓会は同じでも業種が異なりますので長くは続かないと思います。
- ◆薬剤師国試での臨床問題増、卒後初期研修への取り組み、ワクチン接種での研修会など教育、医療現場での薬剤師の在り方が変化している。薬剤師に特化した同窓会の支援も必要。
- ◆医師が薬系の同窓生として活動するのは無理があるので、早期に医学部・薬学部で各自運営するのがあるべき形だと思います。
- ◆一緒に出来たらよいかと思いますが、現実には難しいと思う。多くの意見を取り入れて検討していくのが良い。（個人的には合同開催に興味あります。）
- ◆薬学部に医学部が加わるケースは全国的にもないので、一体となった運営を望みます。
- ◆令和4年の新たな卒業生から以下即実施していただきたい。会長はお一人なので、同窓会の人事は例えば30年後50年後など将来を見据え、偏ることなく、各セクション同人数にすることによって切磋琢磨が期待されます。同人数でないと、どちらがどちらかへお任せきりになり、衰退傾向になって行きます。
- ◆今後の同窓会の在り方を検討していく上で、いくつかのパターンを考えてはどうでしょうか？ その一つとして、「傘下で薬学部・医学部それぞれ独立した形で…」も検討してはいかがでしょうか。
- ◆本学は、医薬が連携した教育によって人材育成を目指すのだから、同窓会は一本の組織でなければそれが貫徹できないと思います。同窓会の運営は、対等を重視していただき、医学部卒と薬学部卒が対等に親睦を深められるよう進めていただきたいと思います。医学部卒業生は年ごとに増えて行くので、将来は医と薬の融合の特徴を発揮して発展を目指していただきたいと思います。
- ◆東北医科薬科大学同窓会及び支部研修会を医療人脈形成に育てて欲しい。
- ◆全体としての同窓会は必要であるが、傘下で医学部と薬学部をそれぞれ独立した組織運営として活動する方がよいと考えます。卒業生としての医師の人脈は、主に医学部教員お

よび社会の医師の集団にあり、薬学部教員及び薬剤師の集団とは異なるため、医学部同窓会の発展のためには薬学部同窓会と切り離れた活動が望ましいと思います。卒業生の医師と薬剤師の集団とを混ぜ合わせて現在のような同窓会組織は避けた方がよいでしょう。もちろん全体としての同窓会傘下なので、2つの下部組織はいろいろと相互に協力関係が必要なことは言うまでもありません。

- ◆医学部卒業生は少数なので、しばらくは薬学部卒業生と同様の扱いでいいと考えます。
- ◆当面は現組織のまま。医学部の会員数が増えてくれば、独立せざるを得ないのでは。ただ「連絡協議会」の様な場を作ってほしい。
- ◆教育内容が違うので医学部卒業生が既存の薬学部卒業生の今の同窓会に入って馴染むことは難しいので今の同窓会の中に医学部部会、薬学部部会を作り支部によって分けずに従来の同窓会のまま運営する事も可能とする。
- ◆第三案に賛成です。現在の同窓会を柱として、その会長には理事長・学長が当たり、薬学部及び医学部にもそれぞれ会長を置き、独立した形で組織・運営を行う。両学部の会長の任期は5年を限度とする。
- ◆学長は同窓会会長ですから学長の理念、ビジョンは？それに従って同窓会はカタチ作られています。二つの学部を併設した理由、何を強く願ってそうしたのか？同窓会へ新しい機能を加えることが出来るのか？政治も変えられるのは医師です。今までの同窓生が築いた礎を下に新しい力を培って欲しいものです。
- ◆法的に医薬分業が成立していない日本では、医師と薬剤師の立場の違いは明確です。しかしながら医科薬科大学となったことは交流ができるメリットは大きく活かしていくことは地域医療の変革のなかで大切と考える。薬剤師が過剰になり、調剤はAIに取って代わる不安のなかでより医師との交流が重要です。
- ◆基本的には現組織体制で良いと思いますが、両卒業生が協力しやすい体制を模索していくことが必要と思います。
- ◆事務局がやりやすい方法で。
- ◆医学系同窓会へ活動準備資金を作る。別会計として本会より200万円～500万円を移譲し、基金とする。毎年医系の学生の会費を積み立てる。当面は医学生の交流になると思います。(勤務上集まることが大変)
- ◆現状のままで良い。本学は2学部しかないので将来的にお互いに学部として協力していけば良いと思います。
- ◆上記に「将来的に」ということが書かれていますが、将来的に一つの同窓会で対応できれば良いと思いますが、結果的に別々に同窓会を設置することにならざるを得ないと考えますが、そのような時に対応できるような会費を含めた同窓会活動に係る管理が必要になると思います。
- ◆現時点では医薬合同の同窓会活動のメリット・デメリットにつき想像ができませんが、とりあえずの様子見で医学部卒業生の加入に賛成いたします。

◆在学生の支援

5. その他

今後の同窓会についてご意見・ご要望をご記入ください。

(役員数などのご意見)

- ◆医薬それぞれに各2名(役員数)に希望します。
- ◆組織的には役員・代議員が年配であることを考慮し、年次代議員の増員のみで良いのではないかと考えます。なお、数年後には医学部からも代議員・幹事等も選出しても良いのではないのでしょうか。
- ◆医学部からの役員・代議員が加わる際は薬学部の人数をそれに見合うよう検討して下さい。人数の枠を多く増やさないように。
- ◆現段階ではまだわかりませんが、何年か後には全ての役員人数の変更が必要となると思います。
- ◆各県支部の支部長は男女2名とし、支部副会長に男女交互に務める。組み合わせは医・薬が重複しないことを原則とする。
- ◆役員代議員については、医学部の卒業生が一定に達したところで増やす。現状は幹事・年次代議員のみでいい。
- ◆役員・代議員について、会長・副会長(薬・医各2人ずつ)、幹事(薬25人・医25人)、監事(薬1人・医1人)、支部代議員(薬2人・医2人)、年次代議員(薬2人・医2人)。相互理解、情報交換、親睦のため。
- ◆質問4について。全般として人数を増やす必要はないと考えます。ただし会長高柳先生のブレインとして副会長職は4名とし、医学部2名、薬学部2名としてはどうでしょうか。これまでの薬学部卒だけの幹事50名は多すぎます(何の活動をしているのかよくわからない。名誉職・肩書だけ?)。幹事は、薬学部25名、医学部25名と半々にすればよいと思います。支部代議員、年次代議員は医学部卒業生が増えるにしたがって決められてくるでしょう。薬学部卒の支部代議員、年次代議員は現状のままでよいと思います。
- ◆いずれ学部ごとに同窓会運営の必要があるのでは。(人数が増えていいので)
- ◆副会長を医学部3名、薬学部3名に増やした方がよい。
- ◆医学部から第一期の卒業生が単立ちますが、現実的には医師としての業務を覚えるだけでも大変な状況が10年は続くと考えますし、この十年を医師としてどう過ごすかが将来に影響することだと考えます。従いまして、第十期の卒業生が単立たれるまでは、医学部同窓会として単独で活動することは難しいと考えます。来年から十年間は、一つ同窓会として活動されることで良いと思いますので、十年目にどうするか検討されれば良いと考えます。同窓会の組織につきましても、そんなに大きくすることなく、副会長は4名(それぞれの学部で2名ずつ)、支部・年次代議員もそれぞれの学部2名ずつで良いと思います。

### (同窓会の在り方についてのご意見)

- ◆独立した形ですべてを行う。
- ◆将来的には医学部・薬学部それぞれ独立した形での運営が最良の形と考える。
- ◆基本は薬学部主体で行うべきです。
- ◆医学部中心にして欲しくない。
- ◆将来的には独立した形で運営した方が良いと思います。
- ◆現状(令和4年3月以降)に合った、会則を検討して下さい。
- ◆母校医学部出身者の活躍に負けないように母校出身薬剤師の活躍を期待しております。
- ◆同じ大学の出身でもあり、互いに協力出来る体制を構築していただきたい。また、卒業生の研修場をこれからも提供してください。宜しく願いいたします。
- ◆医学と薬学との仕事上、独立の立場であることより、それぞれ同窓会も独立して活躍することでしょう。同窓会も干渉する事なく、それぞれの目的で進めていくことでしょう。
- ◆薬学部については現状のままで良い。医学部については将来独立し、両者を分ける。もちろん、必要に応じて両者は連携を取り合う。
- ◆既に学生実習で両学部の交流が行われているように、その卒業生においても医科薬科大学になった特徴を発揮していくべきだと思います。
- ◆令和4年に医学部同窓生が生まれることで初年度より薬学部・医学部同窓生が母校発展のため協力体制ができることを望んでいます。
- ◆医療への願望はスタートが有っても終わりがありません。平素から大変ご苦勞をおかけしております。厚くお礼を申し上げます。
- ◆病院に勤務している薬剤師です。東北医科薬科大学出身の医師と薬剤師が同じ病院等で、共に切磋琢磨、協力し合い活躍する姿を夢んでいます。そんな後輩を育てるべく同窓会として支援できればと思います。
- ◆東北医科薬科大学の知名度を上げる絶好の機会になります。10年後の展望を描いてもらいたいです。
- ◆○医学部同窓生からも意見や発議をしていただき、より良い組織を維持、発展させるには、今ある役職に対し、平等に医学部同窓生を配置すると公正な透明性のある組織を構築できると思います。しかし、現時点では医学部同窓生に十分な体力がない、あるいは遠慮、経験不足のため、医学部同窓生の発言の真意・情報を的確に表現できないため、薬学部同窓生がその気持ちを理解してあげられない可能性が残ります。そこで、医学部同窓生が困っていること、希望していることなどの情報が得られるようなパイプがあれば、的確に判断・協議ができるようになると思いますのでその方法などを検討してはと思います。  
○今回、第一期医学部同窓生を受け入れるにあたって、薬学部同窓会として、心から歓迎の意志を示し、そし一日も早く一人前の医師として、患者さんの命を助けていただきたいと思います。そのための応援を薬剤師同窓生の一人としてできることがうれしく思います。
- ◆第3項の件については、出来るだけ早い時期・できれば来年か再来年くらいから実行し

てほしいと思います。

- ◆同窓会について思いついたまま：今の若者、これからの若者は対「人」が希薄です。核家族化から兄弟親戚が少なく、関係が希薄。コロナ禍でもここが浮き彫りになります。しかし人は集うことで喜びや感覚を担うことも医療の一つと考えます。チームを組む重要性が必要となれば同窓生を家族や親戚のように、またはチームの一員として迎え入れることを考えると二本柱でなく一本で行くのがいいのではないのでしょうか？ 職業上の悩みや情報、意見交換の場としても活用できると思います。
- ◆医学部の第1.2.3期生は結束力が強い傾向がみられるため、当面は同級会的な活動になるのではないかと考えられます。しかし、ここに旧来からの同窓生が合流することで、社会人としての視野を広げる手助けができるものと考えます。社会人としての視野を広げる手助けの一環として合同の飲食の会を設けるのも良いように考えます。

#### (支部活動の在り方についてのご意見)

- ◆理事長を中心とし、支部長が集まり懇談する機会をもっていただきたい。
- ◆他支部の活動や組織運営などを聞いてみたいです。
- ◆近年何処の支部でも人集めに苦労しています。東京支部の様に日薬の認定研修会制度を取り入れて付加価値を付けても大変難しい状況です。インターネット等の普及が集まらなくとも情報が入ります。同窓会のあり方が問われています。zoom同窓会も考えるとそこまでするだけの意味があるのか疑問です。難しい時期に来ています。
- ◆既存の同窓会もなかなか人集めに苦労しています。東京の同窓会の様に日本薬剤師会の認定研修制度で存在感を発揮しても難しい状況です。それでもインターネット等で情報が入る中では知恵を出さないと同窓会運営は難しい状況です。同窓会の付加価値が要求されています。大学も付加価値に関して真剣に考えていただけるとありがたいと思います。しかし、大学のバックアップ団体として重要な同窓会であります。仲良し同窓会は長続きしない事だけは事実です。現状の中で医学部卒業者が入ることはどの様に感ずるか心配です。基本的に同窓会のあり方を考えないといけない時期に来ていると思います。
- ◆人生100年時代、高齢でも週1~2回何かにお役に立ちたいと思っている人も可成りおられると思います。大学の方から各地域で人材を募り、紹介があれば…如何でしょうか。大学の勧誘の一助になりませんかでしょうか。
- ◆医学部同窓生との連絡が取り易くなれば、地域への医療提供が今以上に厚く出来ると思います。特に地方都市においては、互いに顔の分かる関係を構築出来る様な場を、同窓会で提供して欲しい。

#### (同窓会の役員・代議員の任期についてのご意見)

- ◆加齢とともにその役職が続けられなくなった場合、どうしたらよろしいでしょうか。老齢の方々悩んでおります。
- ◆東北医科薬科大学がほんとうに大きくなり、その母体を担う方々の努力が期待されます。

私は昭和 27 年卒別科といわれた卒業生ですが、創設者の義一先生とは個人的にお付き合いがあり、ご家族様との交流もありました。

- ◆全体的に高齢化、現在の教育内容、現状を理解すべき。会議内で意見を言いづらい事もあるので書面で提出する方法もあってはどうか。

#### (同窓会事務局についてのご意見)

- ◆同窓会の皆様お疲れ様でございます。余りお仕事を詰めませんようご健勝をお祈り申し上げます。
- ◆意見が反映されることが必要と思います。
- ◆再開できる事を願っています。
- ◆ご苦勞様です。どうぞよろしくお願い致します。
- ◆今回のような電子アンケートは回答しやすいし、集計もしやすいと思いますのでこれからもお願い致します。
- ◆行事等は個々になることもあると思いますが、運営については、このままでよいと考えます。
- ◆早速の Web 対応、ありがとうございます。回答しやすくなりました。次回以降は今後の通知、回答などの Web 上の連絡を希望する方の調査も行っていたら、通信費の削減につなげて頂けるよう要望いたします。 経済的理由による退学者が、全退学者の 1 割以下だったのは安心しました。大学の対応が良かったものと感じております。引き続き、経済的理由による退学者が出ないことを期待したいと思います。 年次代議員は学生数から考えて各学年で薬学部 2 名、医学部 1 名としてはいかがでしょうか。 よろしく願いいたします。

#### (母校及び学生支援についてのご意見)

- ◆長期的には母校に子弟を入れていこうという雰囲気を作り出すことが必要と思います。
- ◆職業の紹介の場などあっても良いのではないかと一考します。
- ◆少子化、受験生の減少に対する対策としても、同級会の強化策を皆様から集めることができればと思案します。
- ◆コロナ禍の影響を受けている学生の支援を継続的に検討していただきたいと思います。
- ◆同窓会での余剰金は、どんどん大学に寄付したらよいと思う。